

ニューカレドニア モデルプラン ニューカレドニアでアクティビティ満喫の7日間

アクティブで好奇心旺盛、旅先でも新しい体験を求めるタイプの方にピッタリなニューカレドニア。新しい発見がいっぱいのツアーや、探検にもってこいのスポット巡りなど、日替わりで楽しめます。 西海岸でバリアリーフのさらに先へ行ってみたり、トロピカルなお魚たちに囲まれてシュノーケリングを楽しんだり。ココナッツツリーがどこまでも続く砂浜を散歩したり、カナックアートを鑑賞したりしてもいいですね。ニューカレドニアで絶対外せないスポットを巡りながら、たくさんのアクティビティが満喫できる、7日間のおすすめモデルコースです!

日ごとに、宿泊施設とカフェ・レストランを価格帯別に3つずつご紹介します。

↑ 1泊2日:¥<10 000 ¥/¥¥<15 000 ¥/¥¥¥>15 000 ¥ *| メイン:¥<2 000 ¥/¥¥<3 000 ¥/¥¥¥>3000 ¥



1日目 - 夜行便で空港着、ヌメア市街へ移動

ヌメア | トントゥータ国際空港~ヌメア市街→■45分

トントゥータ国際空港へ夜間到着。その後シャトルバスに乗って首都ヌメア市街へ移動。

おすすめホテル&レストラン

♠ → ルメリディアン・ヌーメア・リゾート&スパ ¥¥¥/ラマダ・ホテル&スイーツ・ヌメア ¥¥/ホテル・ボーリヴァージュ ¥ \dagger \dagger → アーカンシェル ¥/レ・ムエット ¥/ゴー・シャトル ¥



2日目 - 都会的な街、首都ヌメア

ヌメア | アンスバタ地区~中心街 → **日** 15分

美しい海に囲まれた首都ヌメアの街で、滞在1日目を過ごしましょう。まずはモーゼル湾のマルシェ巡り。色とりどりのフ ルーツや、朝獲れの新鮮な魚が並ぶ売り場をあちこち見て活気あふれる市場の雰囲気を満喫したら、今度は港をぶら ぶら散策。それから、2階建てバスに乗って朝のヌメア市街をぐるっと見て回りましょう。バスの2階からは、植民地時代の 壮大な建物やビーチ、ラグーンなどの美しい景色がよく見えます。午後は、美術館や博物館でニューカレドニアの文化・ 芸術に触れるのはいかが。ニューカレドニア博物館ではカナックやメラネシア文化にまつわる素晴らしい展示を見るこ とができます。

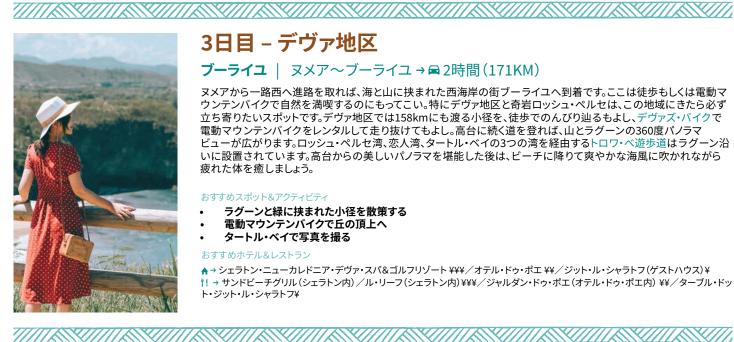
おすすめスポット&アクティビティ

- マルシェでトロピカルフルーツを味わう
- 2階建てバスに乗って首都巡り
- カナックやメラネシアの文化・芸術に触れる

おすすめホテル&レストラン

♠ → ルメリディアン・ヌーメア・リゾート&スパ ¥¥¥/ラマダ・ホテル&スイーツ・ヌメア ¥¥/ホテル・ボーリヴァージュ ¥

fl → ラ・ショミエール/リポカンプ(ルメリディアン・ヌメア内) ¥¥¥/コウベヤ/ル・ジーブズ ¥¥/サンドウィッチ/スナック・ユリス/ビル ボケ・プラージュ¥



3日目 - デヴァ地区

ブーライユ | ヌメア~ブーライユ → **二** 2時間 (171KM)

ヌメアから一路西へ進路を取れば、海と山に挟まれた西海岸の街ブーライユへ到着です。ここは徒歩もしくは電動マ ウンテンバイクで自然を満喫するのにもってこい。特にデヴァ地区と奇岩ロッシュ・ペルセは、この地域にきたら必ず 立ち寄りたいスポットです。デヴァ地区では158kmにも渡る小径を、徒歩でのんびり辿るもよし、デヴァズ・バイクで 電動マウンテンバイクをレンタルして走り抜けてもよし。高台に続く道を登れば、山とラグーンの360度パノラマ ビューが広がります。ロッシュ・ペルセ湾、恋人湾、タートル・ベイの3つの湾を経由するトロワ・ベ遊歩道はラグーン沿 いに設置されています。高台からの美しいパノラマを堪能した後は、ビーチに降りて爽やかな海風に吹かれながら 疲れた体を癒しましょう。

おすすめスポット&アクティビティ

- ラグーンと緑に挟まれた小径を散策する
- 電動マウンテンバイクで丘の頂上へ
- タートル・ベイで写真を撮る

おすすめホテル&レストラン

♠ → シェラトン・ニューカレドニア・デヴァ・スパ&ゴルフリゾート ¥¥¥/オテル・ドゥ・ポエ ¥¥/ジット・ル・シャラトフ(ゲストハウス)¥ †| → サンドビーチグリル(シェラトン内) / ル・リーフ(シェラトン内) ¥¥¥ / ジャルダン・ドゥ・ポエ(オテル・ドゥ・ポエ内) ¥¥ / ターブル・ドッ ト・ジット・ル・シャラトフ¥



4日目 - ポエのラグーン

ブーライユ | ヌメア〜ブーライユ → 🖨 2時間 (171KM)

この日はニューカレドニアならではの方法で、西海岸のラグーンを楽しみましょう!空からラグーンを見たいという方 におすすめなのが、ポエのヴェルティカル・ラゴンが催行している2人乗りのパラモーター。ラグーンの上空をフライト します。パラモーターはスピードがあまり出ないので、乗り心地は快適。足元に広がる景色を思う存分カメラに収め ることができます。船が好きな方なら、ロッシュ・ペルセから出発する、ネクウェタ・サーフ・キャンプ催行のエコツアーはい かがでしょうか。ポエ・ビーチからグラスボトムボートも出ています。グラスボトムボートのツアーでは、同乗ガイドの説 明を受けながらサンゴ礁の近くでフィン・スイミングも楽しめます。1日の締めくくりに欠かせないのが、ポエ・ビーチか ら眺める夕陽。ホテルに戻る前に美しい夕焼けを堪能してください。

おすすめスポット&アクティビティ

- 空からラグーンとサンゴ礁を眺める
- シュノーケリングやグラスボトムボートで海中の世界を楽しむ
- 船で行くエコツアーに参加する

おすすめホテル&レストラン

♠→シェラトン・ニューカレドニア・デヴァ・スパ&ゴルフリゾート ¥¥¥/オテル・ドゥ・ポエ ¥¥/ジット・ル・シャラトフ(ゲストハウス)¥ † | → サンドビーチグリル(シェラトン内) / ル・リーフ(シェラトン内) ¥¥¥/ ジャルダン・ドゥ・ポエ(オテル・ドゥ・ポエ内) ¥¥/ターブル・ドッ ト・ジット・ル・シャラトフ¥





5日目 - ヌメアでニューカレドニアの動物に会う

ヌメア | ブーライユ~ヌメア → **届** 2時間 (171KM)

この日は数多く生息しているニューカレドニアの固有種を見に行きませんか。ヌメアのミシェル・コルバソン動植物公園では、ニューカレドニアのシンボル的な鳥、カグーに会うことができます。より楽しい体験をしたいなら、モバイルボード社のセグウェイ・ツアーがおすすめ。セグウェイを楽しみながら、公園内をスピーディに移動できます。海の生き物に興味を惹かれるなら、おすすめは2つ。

1つ目はニューカレドニア・ラグーン水族館です。ここには数えきれないほどたくさんの海の生物やサンゴなどが展示されています。

2つ目はカナール島での海中散歩。プラージュ・ロワジール社のツアーに申し込むと、アンスバタ・ビーチからボートで島まで送迎してくれます(5分)。シュノーケリングの道具もレンタルでき、さらには海中でガイドによる説明パネルを見ながら魚を眺めることができます。

おすすめスポット&アクティビティ

- ニューカレドニアのシンボル的存在、カグーに会いに行く
- ヌメアの水族館で至近距離からサメを観察する
- ラグーンに生息する魚たちの名前を覚える

おすすめホテル&レストラン

♠→ルメリディアン・ヌーメア・リゾート&スパ¥¥¥/シャトーロワイヤル・ビーチリゾート&スパ¥¥/オテル・ル・ラゴン¥

 \dagger \dagger ル・ビンツ/マルミット・エ・ティール・ブション¥¥¥/カカオ・サンパカ/テキサス・グリル¥¥/フレンチ・カフェ/レキリーブル (ヌバタ内) ¥



6日目 - ニューカレドニアの宝石、イル・デ・パン

イル・デ・パン | ヌメア~イル・デ・パン(フライト) → ★ 30分 X 2

朝、ヌメアの国内線空港マジェンタ空港を飛び立てば、たったの30分でイル・デ・パンに到着です。事前にクニエ・アイランド社のガイドツアーに申し込んでおけば、快適なミニバスがお出迎え。すぐに島内観光に出発できます。その後、ビーチからすぐそばにあるルメリディアンのレストランでランチを取ったら、午後はオロ湾で過ごしましょう。ピッシンヌ・ナチュレルで魚と一緒に泳いだり、クトやカヌメラの、白い砂が目に眩しいビーチでのんびり過ごしたり。特にイル・デ・パンのターコイズブルーに輝く海は、一生忘れられない思い出になるでしょう。たくさんの美しい思い出を胸に、夜はまた飛行機でヌメアへ帰りましょう。

おすすめスポット&アクティビティ

- ミニバスでイル・デ・パンのおすすめスポットを巡る
- サンゴ礁の海で色とりどりの魚たちを観察する
- クトやカムエラ、絵葉書のようなビーチでのんびりする

おすすめホテル&レストラン

♠→ルメリディアン・ヌーメア・リゾート&スパ ¥¥¥/シャトーロワイヤル・ビーチリゾート&スパ ¥¥/オテル・ル・ラゴン¥ † | → ラ・ピローグ (ルメリディアン内) /ル・カレ・ダス ¥¥¥/ル・パニアン(ウレ・ロッジ内) / マンマミーア ¥¥/スナック・ドゥ・ジット・ナタイワッチ / ラ・パ ルカ ¥





7日目 - ヌメアを満喫

ヌメア | トントゥータ国際空港~ヌメア→■45分

ヌメア最終日は、ラグーンでのアクティビティを今一度楽しみましょう!ジェットスキーが気に入った方におすすめなのは、ローカルジェット社のアメデ島日帰りツアー。自然保護区に指定されているこの島には、高さ56メートルの灯台がそびえ立っており、ひと泳ぎする前にこの灯台を訪れるのもおすすめです。最終日は水に濡れたくないという方には、チバウ文化センター。パリのポンピドゥーセンターでも知られる著名な建築家、レンゾ・ピアノ氏によってデザインされた、特徴的な展示棟が目を引きます。この展示棟は、カナック族の伝統家屋カーズをモデルに建てられたものです。最後に、シトロン湾やアンスバタに立ち寄るのをお忘れなく。ニューカレドニア旅行の思い出に写真を撮ってお土産も買い揃えたら…どうぞお気を付けてお帰りください!

おすすめスポット&アクティビティ

- ラグーンでジェットスキーを楽しむ
- カナック文化センターを訪れる
- シトロン湾、アンスバタで、最終日の写真を撮る

レストラン

¶ → ル・ルーフ¥¥¥/オ・プチ・カフェ¥¥/レ・トロワ・ブラッスール¥

